

令和6年度 有機栽培実証ほ場 にんじん

(協力:笑耕ファーム株式会社)



実証開始前の現地確認時点



実証区画

R6.8.1 (木) 太陽熱養生処理作業



施肥



培養菌と、そのエサとなる肥料をセットで土に含ませることで野菜が育ちやすい、やわらかい土を目指します。

培養菌散布

R6.8.1 (木) 太陽熱養生処理作業



耕うん

真夏の作業は熱中症との
戦いでもあります☹️
こまめに休憩をとりながら
作業に臨みました。

散水



R6.8.2 (金) 太陽熱養生処理作業

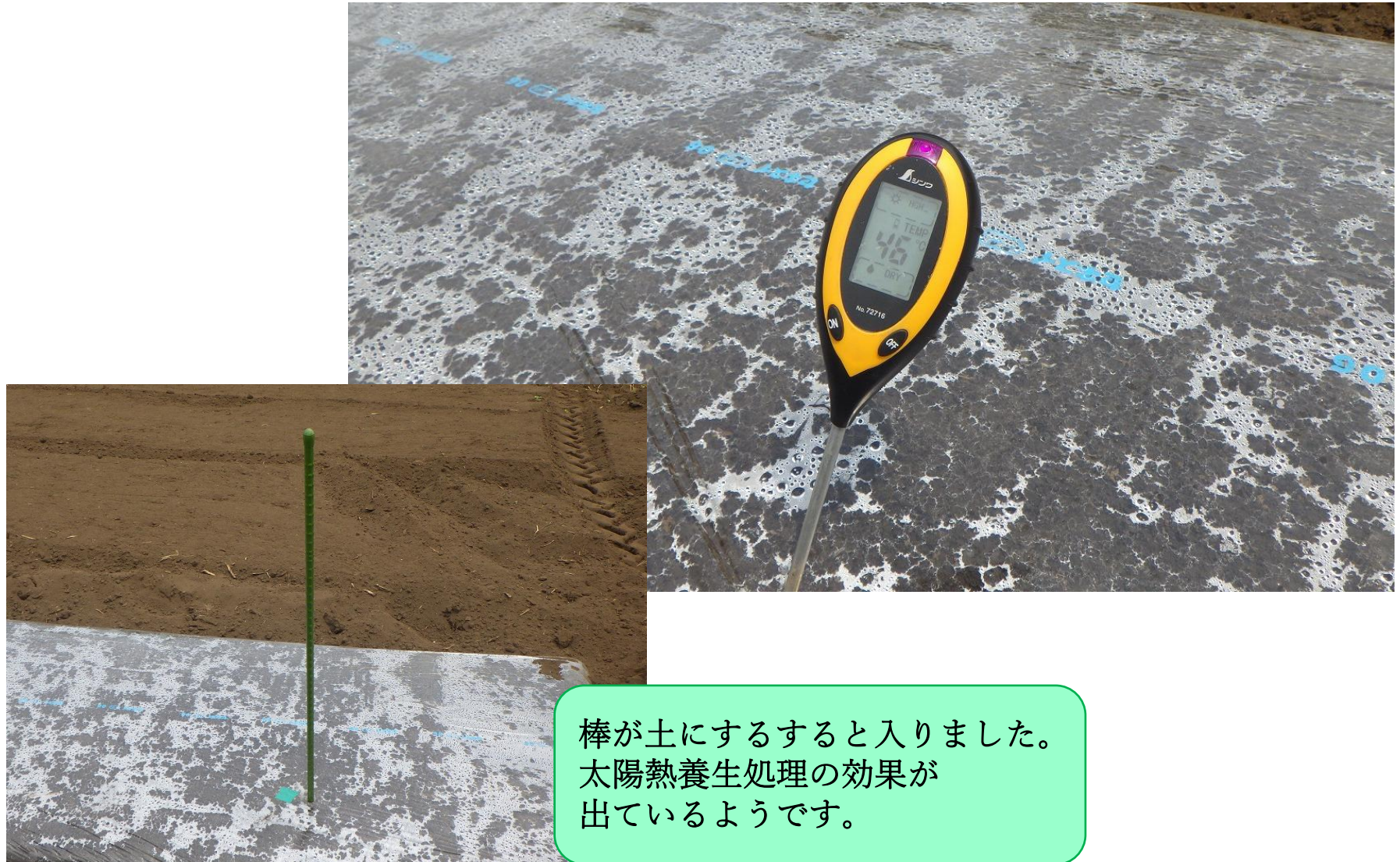


マルチ張り



マルチ張り完了 (太陽熱養生処理開始)

R6.8.6 (火) 現地確認



R6.8.22(木)播種



太陽熱養生処理終了
(マルチ剥がし)
⇒播種



R6.8.28 (水) 発芽



播種からおよそ1週間。

(写真だとわかりづらいですが)
芽が出ています👁👁

R6.9.1 (日) 豪雨被害



発芽したのも束の間、
豪雨に見舞われて畝の高さが失われ、
ひどいところでは土が流されてしまいました☹

R6.9.2(月)豪雨被害への対応



溝を掘って畝の高さを戻していく
大変な作業です。
それでも、
土が流された一部の範囲を除き、
芽の生育には影響なさそうです😊

大雨で流れた畝の再生作業



R6.9.17(火) 太陽熱養生処理の効果



太陽熱養生処理を
実施した区画

雑草の生え方に
明確な違いが出ました！



実施しなかった区画
(比較対照用)

R6.9.18(水) 生育状況



少し大きくなりました😊

R6.10.1 (火) 生育状況



育ってくるとキアゲハの幼虫にも狙われます。丁寧にとります。
(多い日には10匹程度発見したとか)

R6.10.16 (水) 散水



ホースで散水。だいぶ茂ってきました。



R6.10.25 (金) 酢水の散布



POINT

【酢水の散布】

曇りや雨の日が続いて
光合成不足が心配される際に
酢水を散布することで
品質の安定が期待できます。



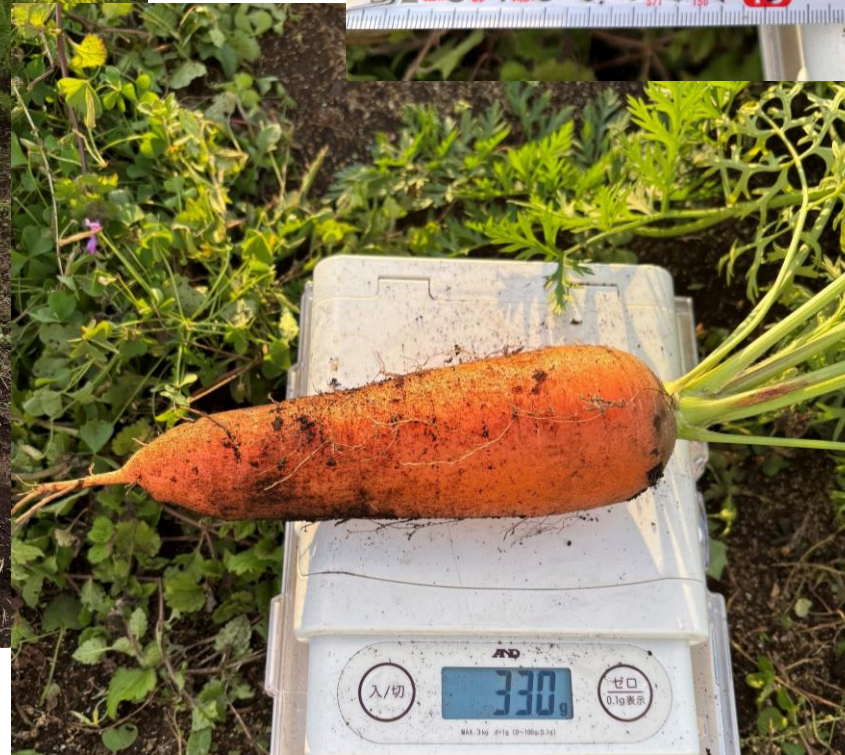
光合成不足を補うための酢水散布

R6.11.7(木) 生育状況



葉っぱがよく茂っています。
早いものはもうすぐ収穫でしょうか！？

R6.11.29(金)お試し収穫



育ちのよいものを
試しに収穫してみました。

12月～年明け1月
にかけて収穫は本番を
迎えます！